

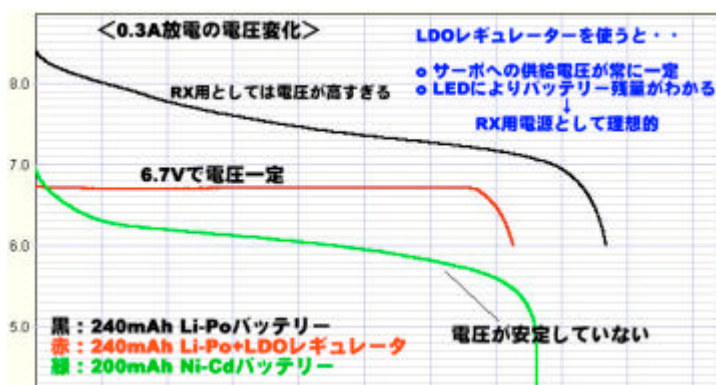
VXR Racing LDO レギュレータ説明書

この度は VXR Racing LDO レギュレータのお買い上げ誠にありがとうございます。LDO レギュレータは Li-Po バッテリーを RX 電源として使用する場合にお使いいただくものです。ご使用前にこの説明書を一度最後までお読みください。



LDO レギュレータの特長

- 1) レギュレータから供給される電圧は 6.7V 固定となります。このため最初から最後までサーボに安定した電圧が供給されることになり、サーボ動作のフィーリングが終始一定となります。
- 2) レギュレータには 2 つの LED が装備されています。レギュレータに Li-Po バッテリーが接続されると緑 LED が点灯します。Li-Po バッテリーの電圧が低くなると赤 LED が点灯します。
- 3) レギュレータは表面実装基板上で構成されています。基盤を保護するためクリアシュリンクで包まれています



使用方法

- 1) 受信機の BATT スロットに LDO レギュレータの J タイプコネクタ（黒）を差し込みます（極性に注意）
- 2) LDO レギュレータを両面テープでシャーシに固定します。LDO レギュレータ使用中は若干発熱しますので空冷されやすい場所に固定すると良いでしょう。
- 3) 電動カーの場合は ESC の受信機コネクタから赤いリード線を抜き取ります。これで受信機とサーボの電源は ESC からではなく LDO レギュレータから供給されるようになります
- 4) 走行準備ができたら充電された Li-Po バッテリーを LDO レギュレータの JST コネクタ（赤）に接続します。VXR Racing 社から発売されている 7.4V Li-Po バッテリーを使用してください。
- 5) Li-Po バッテリーを接続すると LDO レギュレータの緑 LED が点灯し、受信機とサーボへの電源供給が始まり走行可能状態となります
- 6) 走行終了後 LDO レギュレータから Li-Po バッテリーを外します
- 7) LDO レギュレータの赤 LED が点灯し続けたら Li-Po バッテリーを追い充電してください。Li-Po バッテリーにとって過放電は禁物です。そのため過放電になってしまう前に早めに赤 LED は点灯します。赤 LED は Li-Po バッテリーの電圧が 7.0V まで下がると点灯します。6.0V まで電圧が下がると Li-Po バッテリーは過放電状態となります。過放電になる前に充電してください。Li-Po バッテリーにはメモリー効果が無いので追い充電しても容量が少なくなるということがありません。
- 8) HRS（ハイレスポンスシステム）で 2 つの大きなサーボを使う場合（1/8GP カーなど）は消費電流が大変大きくなります。このため LDO レギュレータでは容量不足となる可能性があります。VXR Racing では大容量の LDO レギュレータを発売する予定です。HRS 受信機で 2 サーボを使う場合は大容量 LDO レギュレータを使うようにしてください。

仕様

出力電圧：6.7V

最大電流：1A

レギュレータ部：Linear Low Drop Out

基盤：表面実装

サイズ：18 x 30 x 7mm(ワイヤー部除く)

Li-Po バッテリー：2 セル直列（7.4V）まで

重量：8g

ワイヤー長：10cm

コネクタ：JST RCY/J タイプ 3 ピン

推奨するシャーシ：1/10 GP、1/10 EP、1/12 EP（1/8、1/5 では本品ではなく大容量 LDO レギュレータを使用すること）

この説明書の内容は kimihiko-yanonet の著作物です。いかなる場合でも全部、一部を問わず配布、複製、その他の商用利用を禁じます